

五感で楽しむ。

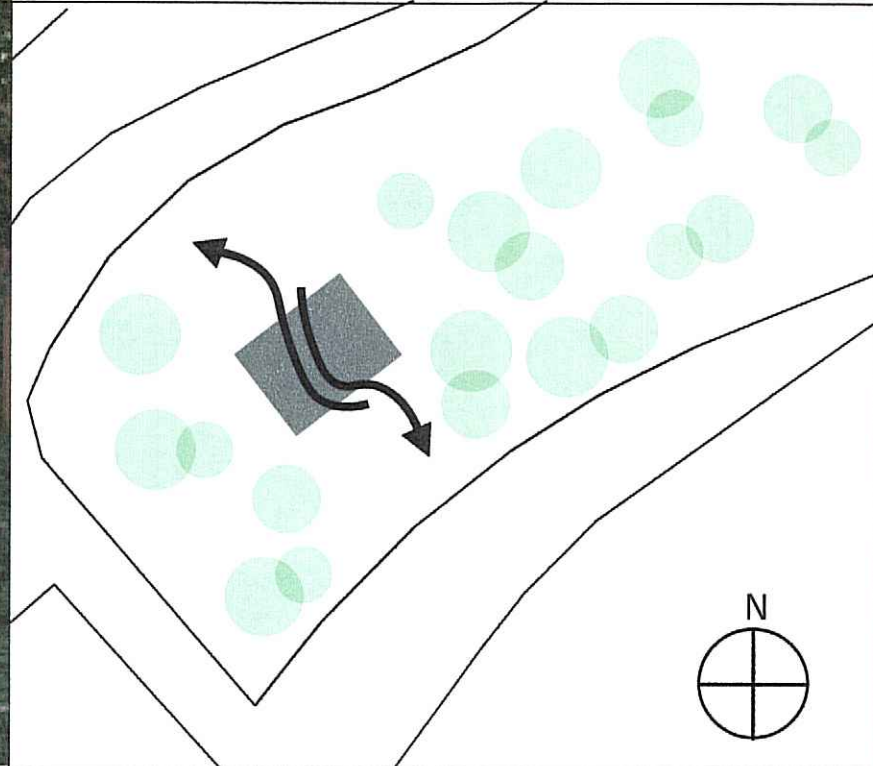


concept

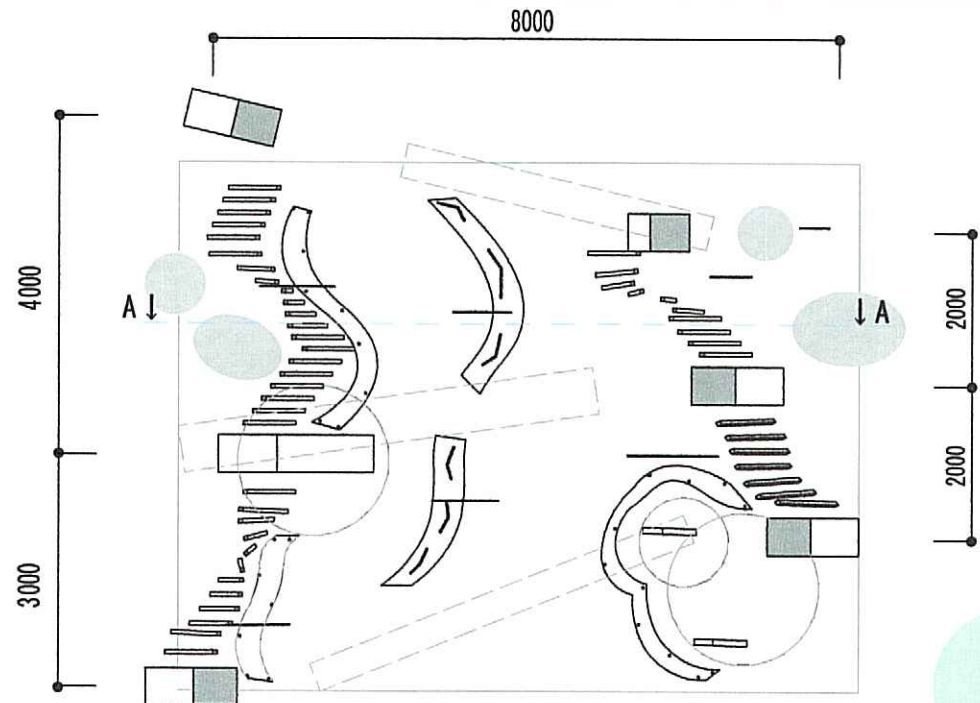
大きな柱と柱の間を壁で覆わず細い木で挟むことにより外との繋がりを感ずることが出来ます。また、間に挟んだ細い木をねじらせて曲線美をつくり緑陰からきこえる鳥のさえずりや葉擦れのような癒しの”音”に調和できるようにしました。屋根は高低差を出し、素材も程よい自然光が入るようにテント生地になっています。このようにして緑陰の心地よい空間を五感で楽しめるような休憩所を計画しました。

休憩所の真ん中には椅子などをあまり設けず、通り抜けやすくなっており、段差のないウッドデッキを設置することにより車椅子での利用がしやすくなっています。

スポーツ広場からきこえる子どもたちの声をカラフルな色使いとオノマトペの形で表現しました。

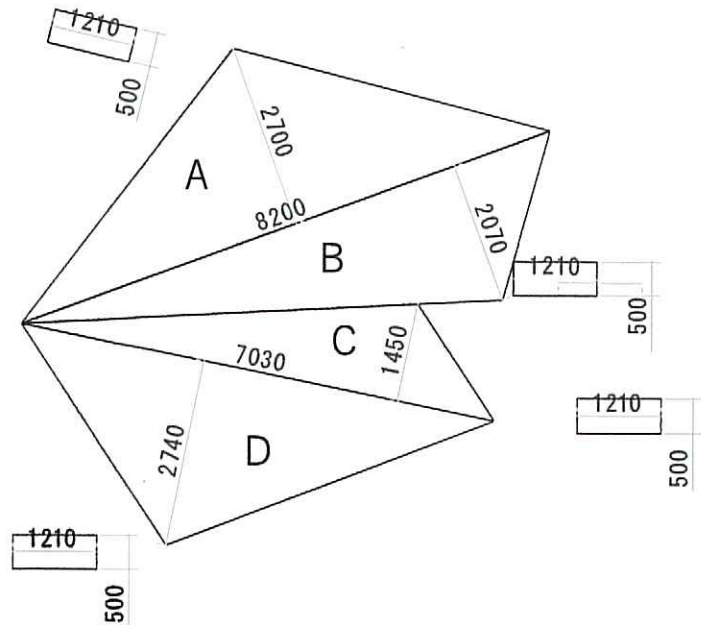


配置図 縮尺 1:500

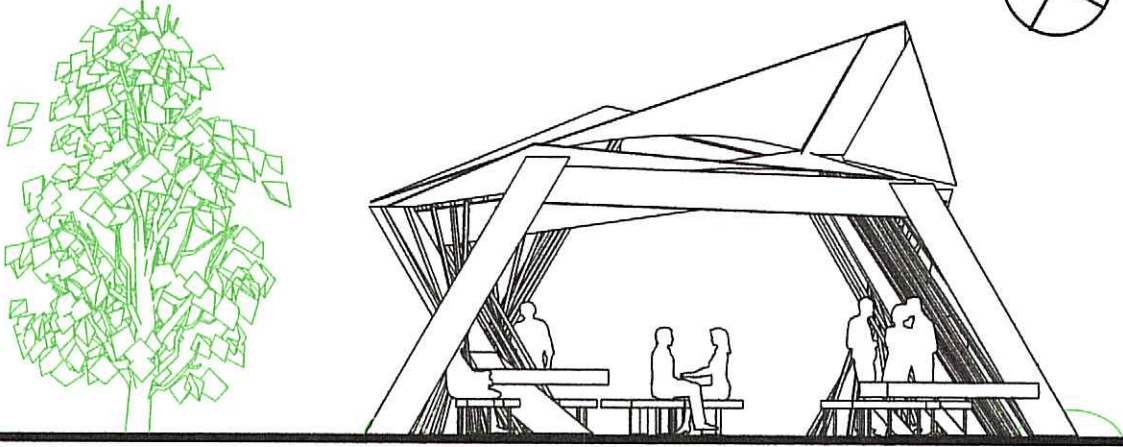


平面図 縮尺 1:100

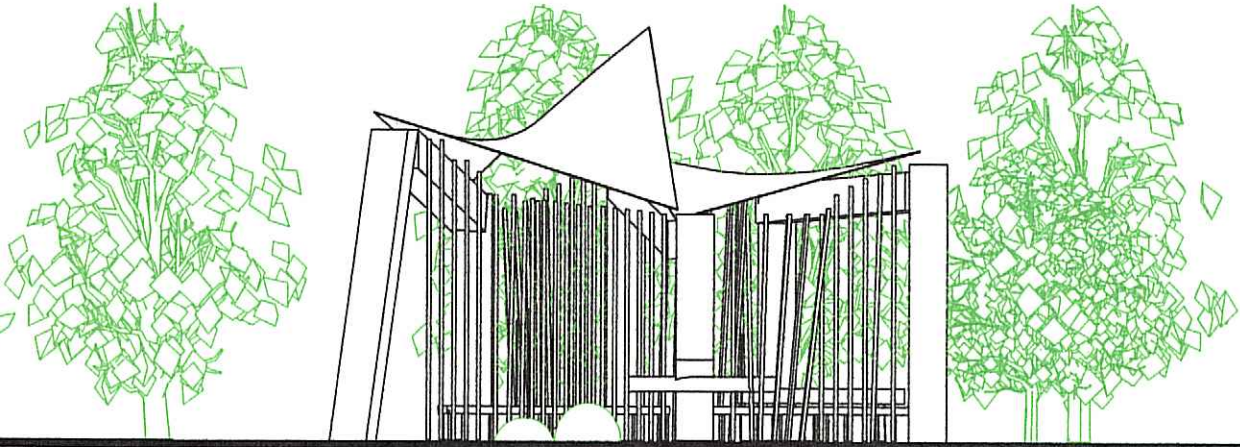
建築概要
〔構造〕木造
〔規模〕平屋建て(屋根あり)
〔外構〕ベイマツ
〔ウッドデッキ〕人工再生木材
〔屋根〕ポリエステル、樹脂PVC



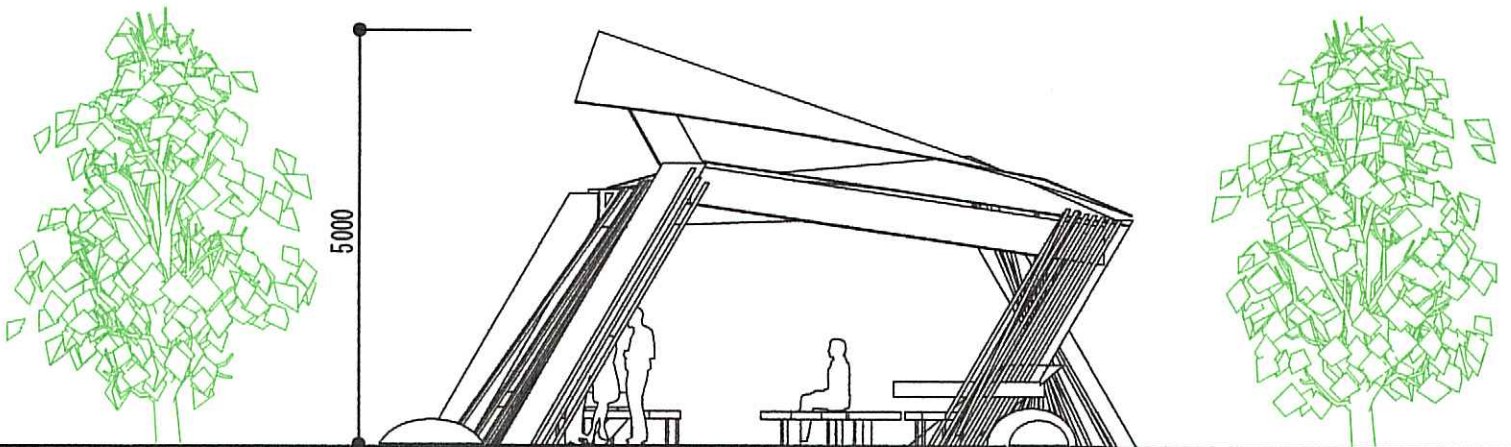
建築面積 算定表	
建築面積	=36.72 m ²
柱	: 1.21 × 0.5 × 4 = 2.42
A	: 8.2 × 2.7 ÷ 2 = 11.07
B	: 8.2 × 2.07 ÷ 2 = 8.48
C	: 7.03 × 1.45 ÷ 2 = 5.09
D	: 7.03 × 2.74 ÷ 2 = 9.63



北西立面図 縮尺 1:100



西立面図 縮尺 1:100



A-A断面図 縮尺 1:100